

平成19年10月 9日

宮城県県政記者会
所属報道機関 御中

東 北 大 学

**多元物質研究所における放射性同位元素
密封線源誤廃棄について(お知らせ)**

このことについて、下記のとおり記者会見を行いますので、ご多用とは存じますが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

< 記 >

日 時:平成19年10月 9日(火) 16:00～ (受付開始 15:30)

場 所:東北大学多元物質科学研究所大会議室(2F)

仙台市青葉区片平2-1-1

出席者:菅村副学長(ライフサイエンス・環境安全担当)

齋藤多元物質研究所所長

朽山教授(多元物質科学研究所放射線障害予防委員会委員長)

この件に関するお問い合わせ先:

国立大学法人

東北大学多元物質科学研究所

総務課 草刈、熱海 Tel 022-217-5202、5203 Fax 022-217-5211

研究協力部

研究協力課 村岡、堀 Tel 022-217-4836 Fax 022-217-5747

1. 紛失物

核種：真鍮の鞘（径8mm×長さ170mm）に密封されたセシウム137

数量：0.4MBq（平成16年改正前の放射線障害防止法では規制対象外であったが、現行法では、廃棄する際には廃棄の技術上の基準に適合することが求められているもの。）

2. 放射性同位元素密封線源誤廃棄の経緯

- ・ 9月21日（金） 多元物質科学研究所生物化学 RI 実験施設の廃止（手続き中）に伴い、一般廃棄物品の処理を行った際に、事前に線源処理を行って廃棄処理を行わなければならない密封放射線源入り液体シンチレーションシステム LSC-1000型を線源取り抜き処理を行わずに廃棄物品として搬出。
- ・ 10月4日（木） 同装置の線源処理を依頼していた業者から装置がなくなっていることの報告があり、所内において装置の探索を開始し、同時に搬出業者に搬出物品の所在確認を依頼。
- ・ 10月4日（木） 一般搬出業者から放射線取扱主任者である担当教授に装置は既にスクラップ処分された旨の報告。
- ・ 10月6日（土） 宮城県警仙台中央署に通報
文部科学省の担当官、日本RI協会担当者、宮城県警係官及び多元物質科学研究所関係者が搬出業者と、この業者から金属屑として搬出した中間処理業者を訪ね、放射線量等の現地調査を実施。
また、宮城県警仙台中央署による多元物質科学研究所生物化学 RI 実験施設の立入り調査が行われる。
- ・ 10月7日（日） 多元物質科学研究所放射性同位元素密封線源紛失調査委員会設置、開催
全学の原子科学安全専門委員会開催
- 10月8日（月） 同多元研委員会によりスクラップ集荷場の現地調査を実施、文部科学省科学技術・学術制作局原子力安全化放射線規制室に報告
第2回放射性同位元素密封線源紛失調査委員会を開催